

Topics

奈良川河川敷に、夏の風物詩「いもたき」が復活！

9月15日から29日までの間、週末限定でいもたき復活祭が開催されました。

会場には連日多くの来場者が訪れ、奈良川河川敷でのいもたきを味わいながら、職場の仲間や友達など一緒に参加した人たちとの会話を楽しんでいます。

15日と21日には、町内のさまざまな企業や団体から提供された景品が当たるお楽しみ抽選会も行われ、当選番号が読み上げられるたびに、会場からは嬉しそうな歓声と拍手が起こっていました。

期間限定で復活した奈良川河川敷でのいもたきの光景。以前、いもたきを訪れたことのある人たちは昔話にも花を咲かせ、懐かしいその光景さえも楽しんでいるようでした。



1

2

1_いもたきを味わいながら談笑する来場者 2_期間中、15日と21日の2日間限定で町の特産品などが当たるお楽しみ抽選会も実施された

Topics

いやし寄席 on 予土線、各駅で上演

9月21日から25日までの間、JR予土線上の14駅で、鬼北町出身の落語家・林家源平さんによる「いやし寄席」が上演されました。

第1回目の公演となった近永駅には、源平さんの落語を心待ちにしていた大勢の観客が駆けつけ、駅舎から溢れるほどの人だかりとなりました。

源平さんは、毒舌とユーモアを交えながら、「介護予防落語」を熱演。「笑うことが大切」と、その軽快な口調で会場中を笑いの世界に引き込んでいきました。その後、古典落語「蝦蟇の油(がまのあぶら)」も熱演した源平さん。訪れた人たちには終始笑顔が溢れ、会場となった駅舎には明るい笑い声が響いていました。

1_身振り手振りの軽快な落語を披露する源平さん
2_会場にはたくさんの人の笑顔が溢れた 3_会場の移動手段は予土線に乗車



3

2



1

Topics

こだわりの料理に舌鼓、鬼級グルメフェスタ



1

9月28日、松山市のレストラン「ル・トワ・ルージュ」のオーナーシェフである岡本三郎さんによる「鬼級グルメフェスタ」が開催され、会場となった「道の駅・森の三角ぼうし」はいつもとはちょっと違った雰囲気になりました。

この日のメニューは、メインの「鬼北産『きじ肉』のパネル・トワ・ルージュ風」や「ひめ柑育ち『マハタ』のポワレ ハーブ・ソース」など全5品。来場者らは、約2時間かけて最高の料理とワインをじっくり味わいながら、ゆったりとした穏やかな時間を堪能しました。



2

3

1_おしゃれな雰囲気の中、絶品の料理を堪能 2_好評だった「鬼北産『きじ肉』のパネル・トワ・ルージュ風」 3_まさに栗の味が楽しめる「銀寄栗のモンブラン」